

# 答えは現場に

客の期待を上回らない限り、本当の満足は与えられない。

単に業務機能を求めているだけなのでは？

機能だけなら一円でも安いところが絶対によいはずです。

客の幸せのため機能以外に、何を提供するのかです。

我々は本当の喜び、感動

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

## 事務所便り

2014年6月9日(月) NO 351

地域から明るい未来を作ろう

や幸せを提供しているか。

効率や目標や競争原理が、幸せを前提とする社会に、不安と奪い合いの、世界を創りだしていないか。

勝手に既得権益を主張し、他者から奪い、実効支配を画策して最大の利益を図る覇権主義は、最近の尖閣諸島やウクライナのクリミア半島に見る通りです。

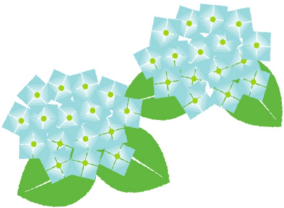
当所にあっても、前税理士が業界指標の趣旨に反して勝手に顧客データを奪い去る行為がある。

奪うことで利益を得ること自体、歴史的遺物で既に時代に適合していません。

これらは中世の戦略、現代に於いては、血を流す以上の損失を被ることを理解していないようです。

覇権主義と私欲は、信用と信頼を完璧にかなぐり捨てるものです。

私たちは自然の一部



すなわち宇宙の一部です。

自然界はバランスが掟です。時間が係っても、必ず調整(温暖化・環境問題)が行われるものです。

## 雇用を生み利益をだし、税を納める

〈先月21日、金融政策の発言ポイント〉

・景気は「駆け込み需要の反動みられるが緩やかな回復」

・海外経済は「回復しつつある」

・設備投資は「企業収益が改善する中で緩やかに増加」

・公共投資は「高水準で横ばい圏の動きになっている」

・CPI(消費者物価指数)前年比「しばらくの間1%台前半で推移」

・「量的・質的金融緩和は

れるのと同じです。相手から奪っても、自ら利益を創造したわけではありませんから、価値を創造せずに対価を奪うことの結果は、世界(世の中)を悪くする事があっても、何んら良くしない。

独善国家と個人は、どんな時代にも適合する訳がありません。当事者は、人類の進歩と発展のため、戦い挑み続ける

所期の効果を發揮している」

・デフレ文言削除は「特別なことを申し上げたものではない」

・デフレ脱却は「判断は様々な指標を総合的に点検する

必要」

・駆け込み需要反動は「夏場以降に減衰との見方変わらず」

・駆け込みの反動は「企業からは想定範囲内との声

「使命」があると考えます。すべての答えは「現場」にあります。

そして誰かを、笑顔にしましょう。

それが社会に貢献することになります。が、「法」が基準の人は、働く意味と存在意義が疑われます。

まずは、自分自身を救えるかです・・・

多い」

・株価「企業収益の先行きで決まるところ大きい」

・株価「トレンドとして株高の方向は変わっていない」

・為替「円高になっていく理由ない」

・米金利低下「FRBの政策の進め方を市場が理解」

・白井委員の提案なし「私から申し上げることはない」

・日本経済は「この1年で需要高まり、供給力問題が顕在化」で総じて模様眺めのスタンスのようです。

## 黒田日銀総裁